

### 新社長就任のごあいさつ

# お客様の期待に応え続ける行動力と 実現力で会社を成長させていきます



代表取締役社長  
渡邊陽一郎

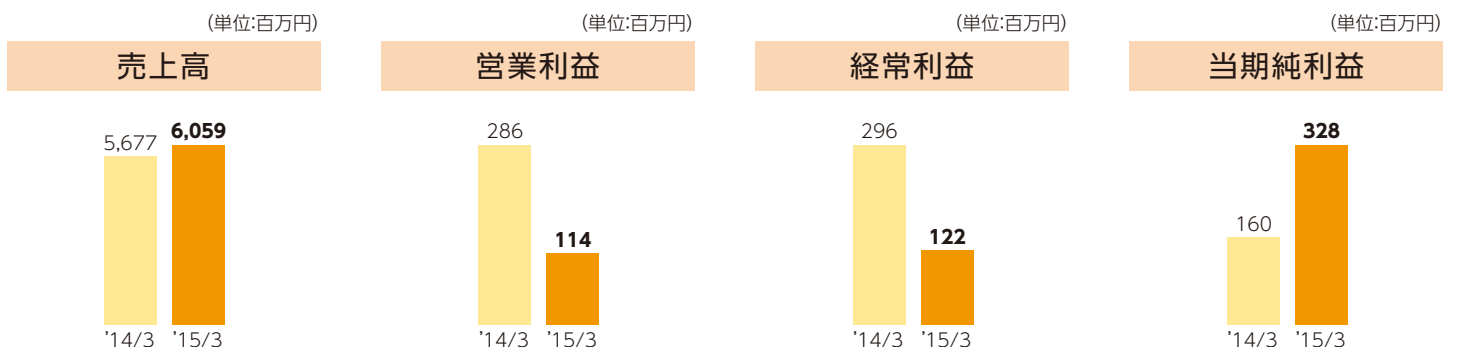
新社長としての私の使命は、創業精神を守り、人を育て、必ず目標を達成させる行動を通して、より多くの方々に価値をお届けできる企業体に成長させること。また、お客様や全社員が「日々新たな朝日ラバーを楽しめる」会社にする事です。

朝日ラバーは、自動車・医療・ライフサイエンス分野に事業基盤を根付かせて、数多くの小さな機能部品を提供し続けている会社です。その本質は「朝日ラバーだったら任せられる」という信頼と、「朝日ラバーにだったら何とかしてくれる」といった期待にお応えし続ける行動力や実現力にあると考えています。

当社の知名度は決して高くありません。世の中に当社の製品力、技術力を知っていただくために、従業員みんなが接して、感じて、それぞれの考えを集めて、次につなげていける機会を多くつくっていきたくと考えています。常に行動して自らを磨き、絶えず新鮮な現場から、独自製品・開発製品をお客様にお届けできるよう全社一丸となって真摯に努力し続けます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援の程、よろしくお願いいたします。

### 連結財務ハイライト



平成27年3月期は、RFIDタグ用ゴム製品やスイッチや防水カバーなどの自動車用ゴム製品が好調で増収となりました。営業利益および経常利益は、期中に逝去した取締役2名分の役員退職慰労引当金繰入額等で201百万円を販管費に計上したため減益となりました。一方、受取保険金312百万円を特別利益に計上したことにより、当期純利益は大幅増益となりました。

# 長期ビジョン「AR-2020 VISION」達成にむけての取り組み

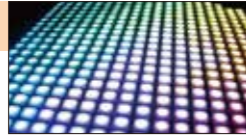
2020年を見据え、目指す姿を「AR-2020 VISION」として定めました。2014年4月からの3か年の中期経営計画を「V-1計画」、2017年4月から「V-2計画」と2つのステージに分けています。

「V-1計画」は、既存事業の持続的成長と新市場・新分野への事業展開を図りますが、収益基盤の強化と会社を支える経営体制と人材の強化、整備を進めていきます。「V-1計画」を達成させて2020年に向けて飛躍する基盤をつくっていきます。経営戦略として、①連結経営の強化、②企業体質強化による構造改革、③各事業戦略の確実な実行、④収益基盤の再構築、を進めています。

## ■重点事業の取り組み

### 自動車分野

主な製品：ASA COLOR LED、  
接点ラバー、防水カバー



ASA COLOR LEDは自動車の内装照明の光源としてさらに拡売を進め、収益の基盤となる利益を稼ぐ当社の主力製品です。また、独自のゴムの配合技術を生かしたスイッチ用のゴム製品の接点ラバーや防水カバーなどが自動車向けに採用されています。

### ライフサイエンス分野

主な製品：卓球ラケット用ラバー、  
マイクロ流体デバイス



卓球ラケット用ラバーは球を高速で弾く反発弾性、強烈なスピンをかける高摩擦抵抗などを追求した、世界最高品質と性能を持つ製品です。マイクロ流体デバイスは、DNAをはじめ様々な液体や気体を分析する生化学分析デバイスです。当社にとって新しい分野の新製品として本格的に量産化を進めます。

「V-1計画」の2年目となる平成28年3月期は、経営方針として「お客様に選ばれる会社に」を掲げ、①国内成長の質的成長、②海外事業の量的成長、③新市場・新分野への事業展開、④競争優位分野へのチャレンジ、⑤人材力の強化、を重点施策とし、目標達成に向けてチャレンジしてまいります。

### 医療分野

主な製品：プレフィルドシリンジ用ガスケット、  
採血用・薬液混注用ゴム栓



安全性の高い材料を使用し、ゴムの特性を生かした製品づくりで、医療現場の安全に貢献し、使いやすさを追求したゴム製品を供給しています。さらに次の新製品開発に向けて、要素技術の深掘りを進めます。

### その他分野

主な製品：RFIDタグ用ゴム製品

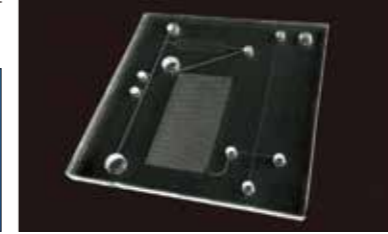
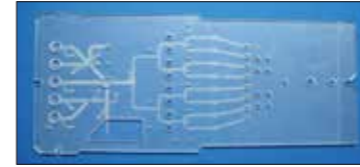


RFID用ゴム製品は、ICチップやアンテナ部をゴム素材で覆い、折り曲げに強く、耐水性、耐熱性に優れた、柔らかい小型のICタグです。特に海外の市場で多くの受注をいただいています。他にもLED基板用の高反射率を実現する白色レジストインクやシリコン製透明レンズなど、当社独自の技術を生かして他社に真似のできない製品を展開しています。

## ■マイクロ流体デバイス事業について

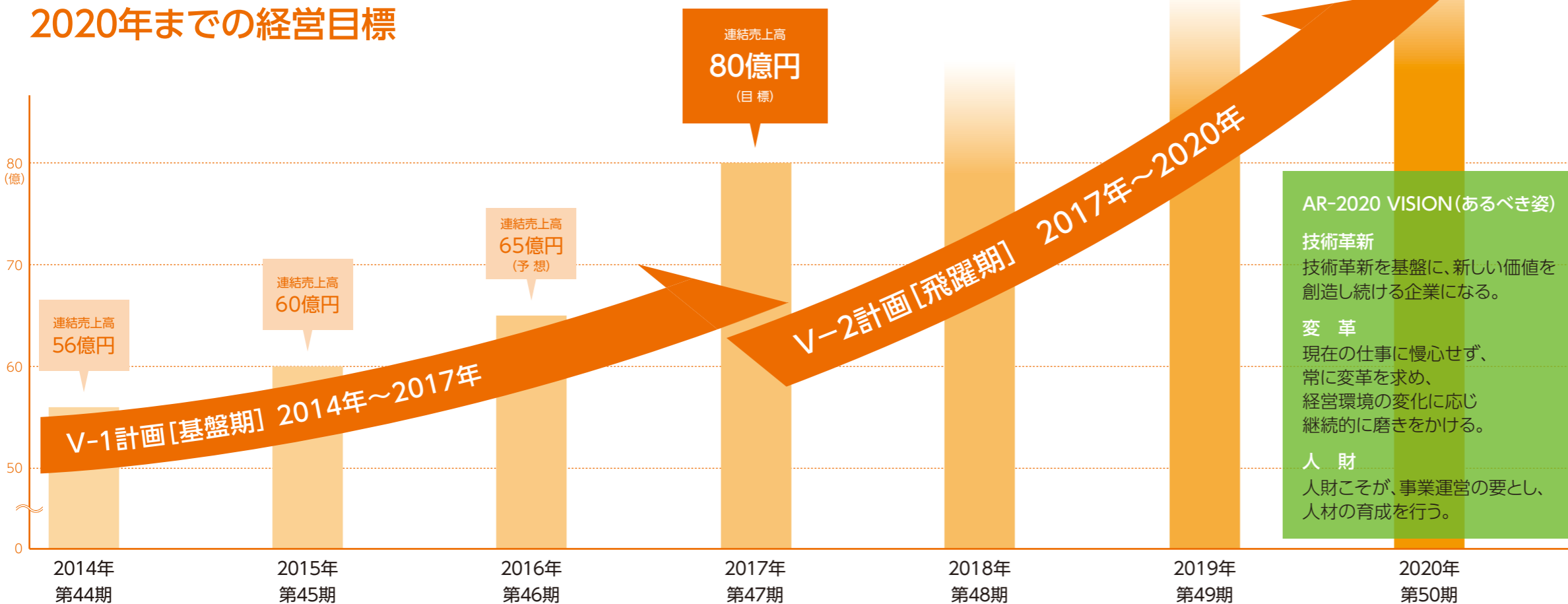
当社のマイクロ流体デバイスは、ゴムと金属、ゴムと樹脂を接着させる技術により独自の積層流路を形成したもので、複雑な分析に対応できます。シリコンゴム製のため弾性があり、外部応力により変形させることが可能で、気体透過性が高く液体中の気泡を除去することができます。また、当社の分子接着技術では、プラスチックなどに転写された微妙な溝や流路をつぶすことなく封止することができ、被着体の融点以下の温度で接着させるため、形状変形しにくいなどの特長があります。

昨年10月から、日本電気株式会社様のポータブル型DNA解析装置向けに量産をスタートさせました。他にも複数の案件が進行中であり、参入市場としてはDNA解析、医療、生物工学などを想定しています。平成28年3月期の売上高は1億4千万円(うち日本電気様向けは1億円)を計画しています。



AR-2020  
VISION  
達成

## 2020年までの経営目標



## 新任取締役の抱負

6月23日開催の第45回定時株主総会で、新たに3名の新任取締役が選任されましたのでご紹介します。



取締役 技術担当  
株式会社FR研究所  
代表取締役社長  
高木 和久

私は、幸運なことに現在の当社を支えるほとんどの主要製品の創出に関わってまいりました。また研究所の社長として3年経ち、良いメンバーに恵まれて技術者が育ってきております。当社の取締役を拝命いたしましたこと、その実績と経験を生かし重要な業務執行についての意思決定を行ない、決意も新たに当社グループの生成発展のために尽力致す所存でございます。



取締役 営業本部長  
滝田 充

この情勢の厳しい時期に大役を仰せつかり、その責任の重大さを痛感致しております。私は28年前に入社し、技術部門から生産・購買・営業管理部門を体験させていただき、現在、営業部門を担当しております。私の責務は当社のコア技術・自社製品に愛情を持ち、売れる製品に応用・進化させ、世界のより多くのお客様に広げていくことです。持ち前の元気と明るさを活かして、現場第一かつ誠実な経営活動を社員の皆様と行っていきます。皆様方のご支援を心よりお願い申し上げます。



取締役(社外)  
馬場 正治

株主の皆様初め関係者の方々へ感謝の意を申し上げますと共に今後とも宜しくお願い申し上げます。私は過去に製品開発及び企画業務を経験させていただきました。企業価値を高める為に、市場の声を反映させ、当社のコア技術を駆使し、他社との差別化製品を早く国内外の市場へ送り込み、新しい価値創造を継続的に行い事業規模拡大に向けて過去の経験を活かしていきます。会社の為に最善を尽くし、法令を遵守する事を念頭に内部統制にも目を配り、顧客満足度を高め、お客様から好まれる会社づくりを目指し、一生懸命努めさせて頂く所存でございます。何卒よろしくお願い申し上げます。

## 前代表取締役社長 伊藤 潤 氏「お別れの会」開催

3月13日に、前代表取締役社長の伊藤潤氏が逝去しました。享年52でした。4月24日にグランドプリンス新高輪にて、「お別れの会」を開催しました。約400名の方がご参会され、愛用されていた靴やコート、プライベートの旅先で撮影した写真を展示し、多くの方が故人の思い出を偲んでいただきました。



## 株式の状況／会社概要 (平成27年3月31日現在)

### 株式の状況

発行可能株式総数 ..... 11,500,000株  
 発行済株式の総数 ..... 4,618,520株  
 株主数 ..... 3,446名

### 大株主

株主名	(株) 持株数	(%) <sup>*1</sup> 持株比率
有限会社伊藤コーポレーション	715,500	15.7
伊藤 潤 <sup>*2</sup>	226,000	5.0
伊藤 巖 <sup>*2</sup>	222,528	4.9
株式会社武蔵野銀行	196,500	4.3
朝日ラバー共栄持株会	148,000	3.3

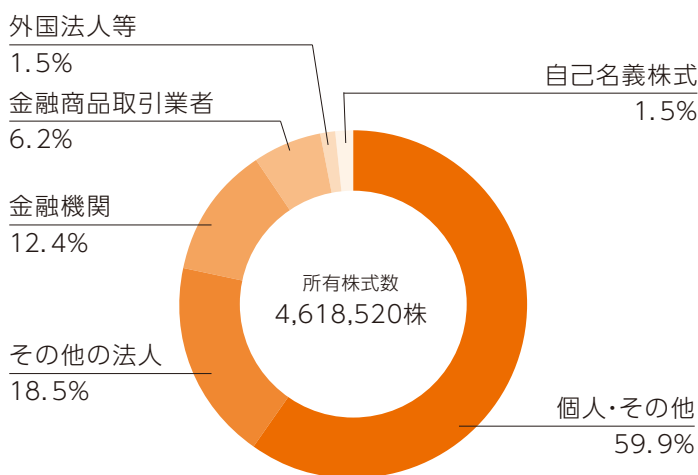
<sup>\*1</sup> 持株比率は自己株式(70,912株)を控除して計算しております。  
<sup>\*2</sup> 伊藤 巖氏は平成26年10月1日に、伊藤 潤氏は平成27年3月13日に逝去されましたが、相続手続未了のため、平成27年3月31日時点の株主名簿に基づき記載しております。

### 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日  
 期末配当金受領株主確定日 3月31日  
 中間配当金受領株主確定日 9月30日  
 定時株主総会 毎年6月に開催  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座の口座管理機関  
 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部  
 〒137-8081  
 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
 TEL：0120-232-711(通話料無料)  
 上場証券取引所 東京証券取引所  
 (JASDAQスタンダード)  
 公告の方法 電子公告により行う  
 公告掲載URL  
<http://www.asahi-rubber.co.jp/>  
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

- (ご注意)
- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金の振込指定その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
  - 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
  - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### 所有者別株式の分布状況



### 会社概要

商 号 株式会社朝日ラバー (ASAHI RUBBER INC.)  
<http://www.asahi-rubber.co.jp/>  
 所 在 地 埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2  
 設 立 昭和51年6月(創業 昭和45年5月)  
 資 本 金 5億1,687万円  
 証 券 コード 5162  
 正 社 員 数 261名  
 主な業務内容 工業用ゴム製品の製造・販売  
 主な事業所 本社：埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2  
 大阪営業所／福島工場／第二福島工場／白河工場  
 役 員<sup>\*3</sup> 取締役会長 横山 林吉  
 代表取締役社長 渡邊 陽一郎  
 専務取締役 中沢 章二  
 常務取締役 亀本 順志  
 取締役 高木 和久  
 取締役 滝田 充  
 取締役(社外) 馬場 正治  
 常勤監査役(社外) 鈴木 敦  
 監査役(社外) 埴 雅夫  
 監査役(社外) 野村 智夫

<sup>\*3</sup> 平成27年6月23日現在